



十小だより

令和6年4月30日
第2号
府中市立府中第十小学校

子どもたちの交通安全を願って

校長 草刈 あずさ

新緑が美しい季節になりました。日も長くなり、夕方には、遊びや習い事から帰る子どもたちへの声かけも「暗くなるから、気を付けてね。」から「車に気を付けてね」になりました。本校の近くの人見街道の歩行には、私は1年たっても、なかなか慣れず、ヒヤヒヤしながら歩いていますが、子どもたちは、慣れた様子で自転車やキックボードに乗って「校長先生、さようなら」と声をかけてくるので、一層ヒヤヒヤしてしまいます。

4月20日には、府中市役所で、府中市交通安全表彰式があり、府中第十小学校は、学校の取組が団体として表彰されるとともに、交通標語1500人以上の応募があった中から、22人が選ばれた優秀賞などに、3人も選ばれました。私が代表で、高野市長から表彰状をもらってきましたが、会場における市長や府中警察署長、交通安全協会会長のお話しかからは、府中市内の子どもたちへの安全への強い思いが感じられ、帰り道には、いつも以上に交通ルールを守る意識を高めたところです。

また、先日、多磨霊園前の駐在さんが学校に来校され、多磨町方面への登下校で、多磨霊園のロータリーや霊園の中の道路を斎場の方に抜けて帰る子がいて心配であるということをお話しいただきました。見通しもよくありませんので、子どもが一人で歩いているのは、交通安全だけでなく不審者対応としても、よろしくありません。さっそく、子どもたちに注意喚起をしました。

昨年度、PTAの校外担当がなくなり、地区班を単位に地域で子どもたちの登下校を守るのではなく、ご家庭それぞれがお子さんの安全な登下校について対応していただいていることと思います。中には、霊園を通るだけでなく、人見街道を歩いている、遅刻しているなど、気になる子どもがいます。

大切な命を守るため、今一度、登下校のお子さんの様子を確認していただくとともに、登校時間帯に間に合うような登校ができるような生活習慣の見直しをお願いいたします。GW明けは登校しぶりの起きやすい時期でもありますので、早寝早起きをGW中も続け、朝、余裕をもって登校できるよう、お声かけをお願いいたします。

GW中には、くらやみ祭があります。

3年生の社会科では、府中市の様子や古くから残る伝統的なものについて学習しますし、4年生の社会科でも、くらやみ祭を扱いますので、ぜひ、お時間がありましたら、お祭りに参加してみたいかがでしょうか。

